

八丈高校 園芸科 通信

2020年12月1日号

萩、尾花、葛、撫子、女郎花、藤袴、朝顔
秋もそろそろ終わりますが、冒頭に上げた7種類の草花は秋の七草です。春の七草に比べてあまり知られていませんが、秋を感じますね。

私の高校時代には、草花の定期考査でこの「秋の七草の種類を書きなさい」という問題があり、一生懸命に覚えた記憶があります。この問題を考えた先生も「秋の七草」を通して日本に根付く文化に触れてほしかったのではないかと思います。

園芸科のみなさんもぜひ草花を通して、様々な文化を感じてみてください。考査に向けた勉強もがんばりましょう。

今回は園芸科で行われている農業鑑定（実物鑑定）テストについてお伝えします。

農業鑑定（実物鑑定）とは

農業鑑定(実物鑑定)とは、日本学校農業クラブ連盟(本校園芸科も加盟しています)によると、「教科の学習や学校農業クラブ活動で得た農業に関する知識・技術の成果を、鑑定・判定・判断・審査技術に渡し、その技術を競い合い、職業的な能力を高めることを目的とする」とあります。本校生徒代表も、毎年開催される日本学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技に出場しています。校内では定期考査時に「実物鑑定」としてテストを実施し、得点の高かった者が予選を行い、勝ち上がった者が代表となります。農業クラブ全国大会は、全国の農業科のある高校から農業鑑定をはじめ様々な競技を実施するもので、「農業高校の甲子園」と呼ばれています。来年度は甲子園球場のおひざ元、兵庫県で実施されます。

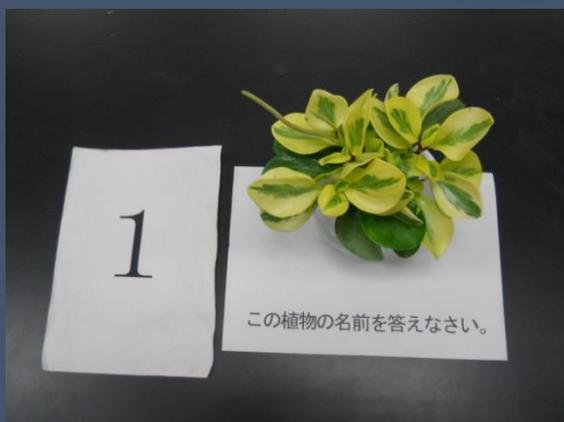
出題範囲の展示



園芸科では考査1週間前から実物鑑定の考査範囲である植物や器具、食品などを展示しています。



テストの様子



20秒ごとに「チーン」とベルが鳴り次の問題に移ります。問題は30問あります。

みんなで教え合い勉強中



園芸科のみなさんしっかり勉強し「めざせ 農業高校の甲子園！！」